

### 定期総会開催しました(3月28日)

決算報告や事業計画案について、承認されました。質疑応答では忌憚のない意見が出されました。皆さんの大切な自治会費を、まちづくりのために大切に使っていきます。新規事業については、その趣旨と進め方について丁寧に説明をして、町民の皆様への理解と協力を頂きながら進めていきます。総会出席者 109名、委任状 2038名 (65%)

### 組長業務説明会を行いました(3月29日)

組長は1年交代ですので、1年間の業務(集金、回覧物配布、訃報の取扱い、行事への参加、組内のもめごと処理、防犯灯・カーブミラーの要望など)について、マニュアルをもとに確認しあいました。終了後、浜松まつりの要員を部毎に選出しました。

### 自治会からは総勢42名で浜松まつりを支えます(5月3～5日)

浜松まつりは、屋台整備、凧揚げ引率、屋台引き回しと子ども練りの交通と誘導、凧揚げ参加者への軽食提供、会所当番、後片付けなど、役員、部長、組長、理事総勢42名体制で臨みます。

今年は、屋台引き回しは、法被でなくても参加可能になりました。参加を希望される方は、会所(コミホ)でワッペンを購入して下さい。当日ワッペンと交換してシールを配りますので、服に着けて下さい。まつりの3日間休憩時の食事も満足いただけるものを用意します。

法被(子ども・大人両方)の貸出も自治会で行っているため、希望する方はまつり担当の湯澤さん(TEL080-4301-5606)まで連絡をお願いします。

なお、皆さんから寄せられた浜松まつりへの寄付金は、668,800円になりました。4月6日に初組に振込みました。

### 第29消防団の入退団式(4月19日)

今年は退団者が5名、入団者が2名、総勢22名と中央区ではワーストに入る危機的現状について、自治会もフォローしていきます。昨年は火災出動件数も5回と少なくすみ、各自治会の防災訓練への協力もしていただいております。何とか団員を確保拡充していけるように消防団の情報提供を増やしていきます。なお初生南の部長は、鈴木健太さんが担っていただいております。よろしくお願いいたします。

### 自治会の今後の活動予定です

- 5月8日(金) 第2回部長会
- 5月16日(土) 段子川側道清掃
- 5月31日(日) 新規自治会加入者歓迎会
- 6月6日(土) 第3回部長会
- 6月7日(日) 三自治会合同長池公園草刈

### コミホアシスタントを募ります

初生町内に住む中高生、大学生、専門学校の皆さん対象に自治会活動のボランティアをやってみたい方を募集していきます。詳しくは次号の自治会ニュースでお知らせします。

### コミホを放課後の子どもの居場所に

昨年の夏休み子ども寺子屋事業を、さらに発展させて通年型にバージョンアップしていきます。6月より、平日の放課後週1～2日、コミホにて駄菓子屋をオープンしていきます。子どもたちが来て遊べる居場所づくりを進めていきます。そこで駄菓子屋を手伝ってくれる方を募ります。

### 昨年の歳末助けあい募金の報告

総額 402,429 円の寄付があったことを報告します。

～裏面もあります～

中日新聞に初組の記事が2回も載りました！

3月9日付 技術伝承会 3月14日付 会所開き

買回



鏡開きを終えて、吹歌さんを抱いて喜ぶ桂祐樹さん（中央）、笑顔の幸矢さん（左手前）＝浜松市中央区で



## 初凧 5名紹介

### 初組 会所開き

5月3日開幕の浜松まつりまで3週間となり、浜松市内各町ではまつり本番に向けた準備が進んでいる。初生町（初組）は11日、初凧「ミニミニティール」（中央区初生町）で会所開きをして、組員約200人が本格的なまつり期間の始まりを祝った。

初生町は今年、3家族の5人が初凧を揚げる。5人の子の名前が紹介されると大きな拍手が起きた。初家や役員がラッパ隊の演奏に合わせて鏡開きをする。会所は祝福ムードに包まれ、盛り上がりは最高潮に達した。

このうち桂祐樹さん（36）の家族は、長男で二万原小5年の幸矢さん（10）、次男の吹歌さん（3）の初凧を揚げる。同町で育った祐樹さんは「自分の町で凧を揚げるのができて感慨深い。子どもたちの健やかな成長を願いたい」と喜び、幸矢さんは「大人数に祝ってもうれしかった」と笑みを浮かべた。

同町の代表自治会長、福井照和さん（68）は「5名のお祝いをすることができ、大変うれしく思っている。地域の子どもたちが楽しく参加してもらいたい」とあいさつした。（服部剛士）



糸を持って凧を操る初生町の子どもたちは8日、浜松市中央区白羽町の凧場公園で

## つなげ 凧揚げの技 伝承会 89町の小中学生ら

5月の浜松まつりを前に、凧揚げの技を次世代に伝える技術伝承会が8日、浜松市中央区白羽町の凧場公園であった。

晴天で風が強い絶好の日和に、市内から89町の住民が参加し、「引っ張れ、引っ張れ」「こっちだ、走れ」と声を上げながら一大行事に備えた。

初生町（初組）は、小中学生7

人が凧揚げを体験した。空に舞っている凧の操縦を大人から引き継ぐと、慣れない手つきながら一生懸命に扱った。

初生小5年の鈴木弥栄子さん（11）は息を切らしながら「風が強く、糸が重かった」と振り返った。「私たちの凧がこんなに高く飛ぶなんてすごい」と達成感にもじませた。

伝承会は浜松まつり組織委員会統監部が開催。廣野篤男委員長（80）は「凧揚げを練習する機会を生かし、迫ってきた本番に向けて準備を進めていってほしい」と期待を込めた。（服部剛士）

※今回の自治会ニュースは、全戸配布ではなく、回覧としました。自治会 HP より閲覧できます。